


様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	ふじみ野市文化振興審議会 委員委嘱式及び令和5年度第1回会議			
開催日時	令和5年5月19日（金） 開会時刻 午後5時00分 閉会時刻 午後6時40分			
開催場所	ふじみ野市役所本庁舎 A301 会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	会長	伊藤 裕夫	副会長	進藤美奈子
	委員	遠山菜穂美	委員	古田土勝市
	委員	小林葉津子	委員	小林 浩
	委員	尾澤 景子	委員	田中 義則
会議の議題	(1) 令和5年度文化振興審議会開催予定について (2) 令和5年度文化芸術活動未来応援事業について (3) 令和5年度文化芸術企画提案型委託事業について (4) ふじみ野市文化協会の設立について (5) 令和5年度文化振興事業の主な内容について (6) その他			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				
傍聴人の数	0 人			
会議の内容	別紙「会議の経過」のとおり			
会議資料	別添のとおり			
事務局	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課			
議事の確定	確定年月日	令和5年 6月 2日		
	記名押印 又は署名	役職名 会長 伊藤 裕夫 		
※自署の場合は、押印不要です。				

(会議の経過)

発言者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
文化・スポーツ振興課長 事務局	あいさつ (4) ふじみ野市文化協会の設立 資料に基づき説明
小林(浩)委員	<p>幅広い団体が対象となるが、これからの組織作りが非常に重要と感じている。文化協会がスタートするにあたりまずは参加を呼びかけていくことが重要な課題。まだ協会について認知度が足りておらず、市報やSNSを通じて存在を周知し設立目的に向かって運営していければと考えている。旧上福岡地域と旧大井地域が一つになり、ネットワークが形成できるようになることが一つの大きな目標。アウトリーチやワークショップ、市文化施設指定管理者との事業において協会がパイプ役となっていければと考えている。</p> <p>「ふじみ野音頭」については私が曲を作らせていただき、また幅広い世代が市の文化に関わってほしいという願いを込めて「We Love♡ふじみ野」という若い世代も親しめる曲を別途作成させていただいた。</p> <p>「ふじみ野音頭」がコミュニティ作りのエネルギーになればと考えている。</p>
伊藤会長	<p>ふじみ野市の文化を取り巻く環境が大きく変わってきている。2、3年前は主に市が動き、各団体が協力していくという体制であったが、現在は新しい文化施設が指定管理という形で運営され、さらに文化協会が設立され、文化を牽引する組織が3つになった。それぞれの方向性がバラバラにならないよう調整が必要である。また最初は活発でも時間が経てば予算の都合もあり市に依存しがちになることもある。そういったことがないよう、文化協会をはじめ各団体が協力して文化振興に携わって欲しい。</p> <p>(1) 令和5年度文化振興審議会開催予定</p>

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	資料に基づき説明
伊藤会長	<p>今年度は4回予定されているので委員の皆様よろしくお願ひしたい。</p> <p>今年度からふじみ野ステラ・イーストに指定管理者が入ったと聞いている。まだスタートしたばかりだが、今後は管理の進捗状況などについて共有して欲しい。</p>
事務局	承知しました。
伊藤会長	<p>(2) 令和5年度文化芸術活動未来応援事業</p> <p>文化施設も完成していき、本事業が市の文化振興の大きな柱になっていくと思われる。審議会としては市の報告を受けて承認するという立場だが、今後どのような形で審議していくか、意見交換をしたい。</p>
事務局	資料に基づき説明
伊藤会長	未来応援事業は助成事業であり、主体性が活動団体にある。自助努力も必要であるため実現性も問われる。
進藤副会長	交付金額は決まっているか。
事務局	<p>決まっています。</p> <p>いくつかの企画は申請内容に対し、参加料徴収など収入の調整を経て交付決定をしています。</p>
伊藤会長	これまで新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、今年度は各企画しっかりと実施できるのではと思っている。
事務局	<p>(3) 令和5年度文化芸術企画提案型委託事業</p> <p>資料に基づき説明</p>
伊藤会長	この事業における応募・採択状況は。

発言者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>ホール活用プロジェクトについては昨年の4件に対し倍の8件の応募があり、3件を採択しました。</p> <p>アートに触れようプロジェクトは10件の応募に対し6件、街中に音色が響くプロジェクトは9件に対し8件の採択です。</p> <p>どちらも昨年同程度の応募件数です。</p> <p>その他事業内容について資料に基づき説明</p>
尾澤委員	<p>ホール活用プロジェクトはふじみ野ステラ・イーストとふじみ野ステラ・ウェストそれぞれ3件ずつの募集なのか。</p>
事務局	<p>合わせて3件です。今回はたまたまふじみ野ステラ・ウェストを使用する事業を3件採択しました。</p>
伊藤会長	<p>採択事業について、今年1年間フォローしながら、審査方法や事業実施の方向性を定めていくことが求められる。結果は公表されているか。</p>
事務局	<p>公表済みです。</p>
伊藤会長	<p>審査の透明性を確保するためにも然るべき情報を公表して欲しい。</p>
事務局	<p>今後の審議会の中で、この事業を来年以降どう進めていくか、各団体等における応募件数の上限などの申請要件や演者の重複に対する審査基準、審査に関する部会等の設置など詳細を定めていきたいと考えています。</p>
進藤副会長	<p>審査方法としては、今後も申請者の所属組織に関係なく公平公正に審査をしていくことが必要。</p>
伊藤会長	<p>神奈川県助成事業における審査部会では、中立的な審議会委員3名のほかに県の財団、県職員等が入っている。またこうした事業の場合、指定管理者を入れるかという話</p>

発言者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>も出てくる。事業運営に関わる組織でもあるため、今後審査部会に1名は入れても良いのでは。</p> <p>4回目の審議会では次年度の要綱が決定するかと思う。審査体制や公表の方法・内容についても考えていかなければいけない。</p>
事務局	<p>審査方法、事業の考え方として、完全な点数基準で審査する考え方もあれば、より多くの団体・個人をサポートしていく考え方もあります。どちらが良いのか迷う部分もあります。</p>
尾澤委員	<p>どのように点数をつけたかの公表もそうだが、例えば僅差で不採択となった団体・個人への救済措置やアドバイスの的なものもあって良いと思う。</p>
事務局	<p>多くのアーティストが自主的に活躍する現在は種まきの段階と考えています。出てきた芽を伸ばしていくのか、間引いてしまうのか判断が難しいと考えています。</p>
進藤副会長	<p>実施内容は良くても企画書の中身が伴っていない場合もある。</p>
伊藤会長	<p>演奏は高レベルでも企画書作成が苦手な場合がある。文化協会に加盟していれば今後内部でアドバイスがもらえる可能性があるが、加盟していない団体・個人のための相談窓口があると良い。企画を出しやすい環境を整備して欲しい。</p>
事務局	<p>企画書作成のスキルを上げていただくことも大切であり、求めていると考えています。</p>
小林(葉)委員	<p>これだけ多くの団体から応募があったことは素晴らしい。多くの団体を応援するという必要だが、今後も審査の透明性を担保する必要もある。</p>
田中委員	<p>素人にとって企画書審査はハードルが高い。専門家と協</p>

発言者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
伊藤会長	<p>力すれば何とかなるが、個人でとなると難しい。</p> <p>未来応援事業やアートに触れようプロジェクト、街中に音色が響くプロジェクトは比較的入門編として応募しやすい形でやっても良い。審査について、もちろん点数は大事だが、例えば不採択となった企画をアートフェスタで実施するなど、今後につながる動きがあると良い。また、文化協会が会員、非会員関係なく相談役になってあげることも必要なのではないか。</p>
古田土委員	<p>提案の得手不得手や所属に関係なく自由に平等に提案ができる環境が必要と考える。また、審査について例えば企画書の問題で点数が悪くても良い企画は拾っていくというやり方があっても良い。企画の光る部分を見つけられれば良いのではないか。</p>
伊藤会長	<p>審査のポイントも人によって変わる。企画書の書き方だけでなく、企画の本質的な内容を見れる人が審査に入ることも大切だと考える。</p> <p>今後の審議会の中で審査のあり方についても意見していきたい。</p>
事務局	<p>(5) 令和5年度文化振興事業の内容 資料に基づき説明。 併せて地域活動支援事業についても説明。</p>
伊藤会長	<p>地域部活動については県レベルで方針を固めて市町村も動いていくという流れだが県の動きが遅れている。</p>
事務局	<p>今年度は部活動というくくりにとらわれず、文化・スポーツの垣根無く、自由に触れられる機会があってもよいと考えています。</p>
伊藤会長	<p>方向性、考え方はそれで良いと思う。</p>
進藤副会長	<p>部活に関しては時代が変わり、「この種目を頑張りたい</p>

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
進藤副会長	<p>からこの部に入る」ではなく「部活をやりたくないから消極的な部に入る」という子もいる。そういった子どもたちが気軽に様々な文化・スポーツに触れられる機会があると良いと思う。</p> <p>(6) その他</p> <p>市の YouTube チャンネルについて、過去の動画で消えてしまっているものがある。容量等の問題もあるかも知れないが、参加している団体の想いも尊重して欲しい。今後は動画の取り扱いは慎重にお願いしたい。</p> <p>閉会</p>